

2010年度入学筑波大学外国人研究生出願要項

University of Tsukuba Application Guide for International Research Students for 2010 Admission

※ You can find the Application Guide in English on page 5.

研究生とは、指導教員の指導のもとで、特定の研究課題について研究を行う者をいいます。研究生は指導教員及び授業担当教員の承認を得て、当該研究に関連のある授業を聴講することができますが、単位を修得したり、修士や博士の学位を取得することはできません。本学の研究指導・授業の大部分は日本語で行われていますので、研究生に志願する者は、日本語を十分に身に付けている必要があります。

研究生の入学資格は大学を卒業した者となっています。出願者はあらかじめ出願前に、本学での研究指導を希望する指導教員の内諾を得ていなければなりません。選考は書類審査により行いますので、出願者は選考のために来日する必要はありません。

なお、修士又は博士の学位を取得するには、修士課程又は博士課程の正規学生となる必要がありますので、研究生の選考とは別に行われる大学院の入学試験を受験してください。(大学院の入学試験についての問い合わせ先：〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学教育推進部教育企画課大学院入試担当 電話029(853)2231)

I 研究生の出願

1. 出願資格

- (1) 大学を卒業した者及び希望する入学時期までに卒業見込みの者
- (2) 外国において、大学の課程を卒業した者及び希望する入学時期までに卒業見込みの者
なお、上記の大学には、その国の教育制度によって大学教育修了までの学校教育の課程が16年（博士課程人間総合科学研究科の生命システム医学専攻及び疾患制御医学専攻にあっては18年）に満たない大学を含む。
- (3) その他 本学の大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※ 出願資格(3)で出願しようとする者は、出願資格認定審査を行いますので、あらかじめ国際部留学生交流課へ申し出て、所定の出願者調書を外国人研究生入学願書とともに、

- ① 2010年4月入学の場合は2009年9月9日(水)～11日(金)の期間内に、
- ② 2010年9月入学の場合は2010年2月1日(月)～3日(水)の期間内に、
- ③ 2010年12月入学の場合は2010年5月10日(月)～12日(水)の期間内に提出してください。
(この場合の入学願書は、出願資格認定審査が終了するまで、その受理を保留します。)

2. 入学時期及び願書提出期間

入学時期	願書提出期間
2010年4月	2009年10月13日(火)～10月16日(金)
2010年9月	2010年3月2日(火)～3月5日(金)
2010年12月	2010年6月15日(火)～6月18日(金)

3. 出願書類提出先及び問合せ先

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学国際部留学生交流課 電話 029(853)6085、6087 Email isc@un.tsukuba.ac.jp

4. 出願方法

(1) 持参する場合

出願書類は、出願者本人が持参してください。その際、パスポート、外国人登録証明書などの本人であることが分かる書類を提示してください。(本人以外の者が持参した場合は、受理できません。)

なお、出願書類の受付時間は次のとおりです。

受付時間	
午前 9:00～11:30	午後 13:30～15:30

(注) 土、日曜日及び祭日の受付は行いません。

(2) 郵送する場合

出願書類を郵送する場合は、「書留」「EMS」など配達状況が確認できる方法により、上記願書提出期間内に到着するように送付してください。提出期間後に到着したものは、受理できません。

(注) ア. 出願書類等に不備又は不足がある場合は受け付けできません。

イ. 提出された書類は返却できません。

5. 出願書類等

研究生の選考は書類審査により行いますので、出願書類はもれなく詳細に記入してください。

下記の(2)入学願書は出願者本人が原則として日本語で記入してください。その他の書類については、日本語により作成し難い場合は、英語で作成しても差し支えありません。なお、公的機関の発行する証明書等で、日本語、英語のいずれでも作成できない場合には、当該証明書等に日本語訳を添付してください。

(1) 検定料

ア. 日本国内から出願する場合

(本要項をホームページからダウンロードした場合は、ホームページ上の払込方法に関する説明に従ってください。)

- (1) 願書提出時までに、同封する本学所定の振込用紙(払込取扱票)に、氏名・住所、出願する研究科等必要事項を記入し、日本国内のゆうちょ銀行の窓口で検定料(9,800円)を払込んでください。ATM(現金自動預払機)は使用しないでください。
- (2) 手数料は振込み者が負担してください。
- (3) 「郵便振替払込金受領証」及び「郵便振替払込受付証明書」を窓口から受け取る際には、「受付局日附印」が押されていることを確認してください。
- (4) 「受付局日附印」が押された「郵便振替払込受付証明書」を、「検定料の払込受付証明書貼付用紙」の所定欄に貼り付け、出願書類とともに提出してください。

イ. 海外から出願する場合

〈日本国内に代理払込人がある場合〉

上記アに従ってゆうちょ銀行で払込み手続きを行ってください。その際、「検定料の払込受付証明書貼付用紙」の所定欄に代理払込人の氏名を記入してください。

〈日本国内に代理払込人がおらず、海外から払込みを行う場合〉

- (1) 願書提出時までに、外国送金(bank wire transfer)を取り扱っている最寄りの銀行から下記の銀行口座に検定料(9,800円)を送金してください。

銀行名： The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.
支店名： HEAD OFFICE
口座種別： Ordinary account
口座番号： 7862425
口座名義： University of Tsukuba GAKUNOUKINGUCHI
通貨： JPY
SWIFT Code： BOTKJPJT

海外からの送金専用口座です。

- (2) 米ドル等他の外貨建ての送金は行わないでください。日本円以外の外貨で送金した場合、出願を認めません。
- (3) 送金にかかる振込手数料等は全て振込み者が負担してください。
なお、日本の銀行で円為替取扱手数料(2,500円)がかかります。また、経由銀行がある場合は、経由銀行において手数料がかかります。これらの手数料も振込み者に負担していただきますので、送金時に、送金銀行に対し、「振込手数料等は全て振込み者が負担する。」旨を伝えてください。
- (4) 必ず、送金証明書を受取り、「検定料の払込受付証明書貼付用紙」の裏面に貼り付け、出願書類とともに提出してください。

ウ. 現金は受け付けません。

エ. 一旦納入された検定料はいかなる理由があっても返却できません。選考の結果不合格となった場合のほか、検定料を納入したが出願しなかった場合、書類不備等で出願が認められなかった場合も返却できませんので、予めご了承願います。

オ. 検定料の額は改定されることがあります。

(2) 入学願書(別添所定の様式) 2通

ア. 出願者本人が原則として日本語で記入すること。

イ. 2通それぞれに写真を貼付すること。

ウ. 在外公館(日本国外にある日本大使館・領事館)によってはビザの申請の際に入学願書の写しの提示を求められる場合があるので、必ずコピーを取っておくこと。

- (3) 出身校（大学、大学院）の卒業又は修了証明書…………… { 正（Original） 1通
副（Copy） 1通
- ア. 大学院の修了者は、大学院の修了証明書のほかに大学の卒業証明書も併せて提出すること。
イ. 卒業（修了）見込みの者は、卒業（修了）見込み証明書又は在学証明書を提出すること。
卒業（修了）証明書は、取得した学位名が記載されているものが望ましい。
卒業（修了）証明書を発行しない国等から出願する者は、卒業（修了）証書（Diploma）の複写（Copy）に
出身校の公印（Official Seal）又は認印を受けたものを正（Original）として提出すること。
サイン又は公印が複写（Copy）の場合には受け付けません。
- (4) 出身校（大学、大学院）の成績証明書…………… { 正（Original） 1通
副（Copy） 1通
- 大学院の修了者は、大学院の成績証明書のほかに大学の成績証明書も併せて提出すること。
出身校の長等のサイン又は公印（Official Seal）のあるものを正として提出すること。
サイン又は公印が複写（Copy）の場合には受け付けません。
- (5) 日本語能力を示す証明書類…………… 2通
- ア. 「日本語能力試験」「BJT ビジネス日本語能力テスト」「J. TEST 実用日本語検定」等を受験した者はその成績通知書
（試験結果）＜複写（Copy）も可＞
イ. アが提出できない場合は、各国で独自に行われている日本語検定試験の成績通知書（試験結果）＜複写（Copy）
も可＞
（注）ア、イいずれも提出できない場合は留学生交流課に問い合わせること。
- (6) 英語能力を示す証明書類…………… 2通
- ア. 「TOEFL」「TOEIC」「IELTS」等を受験した者はその成績通知書（試験結果）＜複写（Copy）も可＞
イ. アが提出できない場合は、各国で独自に行われている英語検定試験の成績通知書（試験結果）＜複写（Copy）も
可＞
（注）ア、イいずれも提出できない場合は留学生交流課に問い合わせること。
- (7) 指導教員連絡状況調書（別添所定の様式）…………… { 正（Original） 1通
副（Copy） 1通
- ア. 出願前に、あらかじめ研究指導を希望する教員（希望指導教員）と研究計画等について充分連絡をとること。
イ. 指導教員となってもらうことの内諾が得られたら、この調書に出願者氏名及び国籍を記入したうえで希望指
導教員に送付すること。
（注）この調書が願書提出期間内に提出されない場合は、出願が認められません。
- (8) 推薦状（別添所定の様式）…………… { 正（Original） 1通／各人
副（Copy） 1通／各人
- ア. 出身校（出願者が卒業した大学、大学院）の指導教員等2名の異なる者が作成したもの。現在、教育・研究機関に
在職している者については出身校の指導教員1名と在職する教育・研究機関等の長1名が作成したものでも可。
イ. 日本語又は英語以外で作成の場合は、日本語又は英語の訳文を添付すること。
- (9) 国籍又は市民籍が確認できる公的な書類…………… 1通
- 外国に居住する者は、戸籍謄本、出生証明書、パスポート等出身国の公的機関が発行する国籍又は市民籍が明記された
書類
日本に居住する者は、市区町村が発行する外国人登録原票記載事項証明書
- (10) 作品写真集又は業績報告書（共に形式自由）の複写（Copy）…………… 1部
- 人間総合科学研究科芸術専攻（博士前期課程）に出願する者は、作品写真集又は業績報告書（共に形式自由）の複写（Copy）
を提出すること。
なお、提出物は返却できません。

- (11) 選考結果送付用住所シール／EMS 伝票（別添所定の様式）…………… 1 通
日本国内への送付を希望する者は、「選考結果送付用住所シール」を提出すること。外国への送付を希望する者は、「EMS 伝票」を提出すること。（ただし、本要項をホームページからダウンロードした場合は、「EMS 伝票」は不要です。）
- (12) 外国人研究生出願書類等提出明細票（別添所定の様式）…………… 1 通

6. 選考結果の通知

入学時期	選考結果発表時期
2010年4月	2009年12月中旬～下旬
2010年9月	2010年5月中旬～下旬
2010年12月	2010年8月中旬～下旬

研究生に合格した者が本学に入学する際には、「入学許可証明書」等の必要書類を在外公館（日本国外にある日本大使館・領事館）に提出して、「留学」ビザを取得してください。

7. 研究期間

当初の研究期間は、入学を許可された年度を超えることはできません。本学の1学年度は4月に始まり、翌年3月に終了します。従って、4月入学、9月入学、12月入学のいずれの場合でも、当初の研究期間は志願者の希望にかかわらず2011年3月末日で終了します。引き続き研究を希望する場合には、研究期間の延長申請をして、許可を得なければなりません。なお、研究期間は通算2年を超えることはできません。

8. 研究生の検定料、入学料、授業料（2009年度の例）

検定料	入学料	授業料
9,800円	84,600円	29,700円（月額）×研究期間

入学料及び授業料（月額29,700円×〔入学を許可された日の属する月から研究修了予定の月まで〕）は入学手続き時に一括して納入しなければなりません。なお、一旦納付された検定料、入学料、授業料はいかなる理由があっても一切返還できません。また、検定料、入学料、授業料の額は改定されることがあります。

University of Tsukuba Application Guide for International Research Students for the 2010 Admission

Research students are those persons who conduct research about a specific research topic under the guidance of an academic advisor. Upon receiving permission from their academic advisor or the instructor(s) in charge of courses, research students are allowed to attend courses related to their research topic, but they cannot earn credits nor are they eligible to receive Master's or Doctoral degrees. At our university, most research guidance and courses are conducted in Japanese. Therefore, those who aim at becoming research students must have sufficient Japanese skills.

In order to qualify for admission at our university, research students must be graduates of a university. Moreover, prior to application, applicants must obtain the informal consent of the academic advisor under whom they wish to study during their research period at our university. The selection is made by an examination committee upon careful consideration of the submitted documents. The applicant is not required to come to Japan for the selection.

Please note that you must be enrolled as a regular student at a graduate program in order to obtain a Master's or a Doctoral degree. The admission procedure is different from the selection process for research students, and it must be taken at a graduate school of our university. (You may inquire about graduate programs admission examinations at: Admission Section, Division of Educational Planning and Administration, Department of Educational Promotion, University of Tsukuba, 1-1-1 Tennodai, Tsukuba-shi, Ibaraki-ken, 305-8577 JAPAN, Tel: (029)853-2231)

I. Application Procedures for Research Students

1. Application qualifications

(1) Persons who have graduated from a university or are expected to graduate before the admission period.

(2) Persons who have graduated from a university abroad or are expected to graduate before the admission period.

This qualification includes universities where, according to the educational system adopted in each respective country, the educational process up to graduation from university takes less than 16 years (or 18 years in case of the fields of Life System Medical Sciences and Clinical Sciences in the Graduate School of Comprehensive Human Sciences.)

(3) Others: Persons who have been judged by their intended graduate school at our university to have at least the same academic ability as university graduates.

※ Applicants in this category(3) must first undergo a pre-application screening procedure in order to obtain permission to apply. For this reason, they must inquire at the Division of International Students and submit the prescribed documents together with the Application Form for International Research Students, as follows :

① For April 2010 admission: Between Wed., Sep. 9 and Fri., Sep. 11, 2009

② For September 2010 admission: Between Mon., Feb. 1 and Wed., Feb. 3, 2010

③ For December 2010 admission: Between Mon., May 10 and Wed., May 12, 2010

(In these cases, the application will be deferred until the screening for application permission is finished.)

2. Admission periods and application periods

Admission period	Application period
April 2010	Tue., Oct. 13 to Fri., Oct. 16, 2009
September 2010	Tue., Mar. 2 to Fri., Mar. 5, 2010
December 2010	Tue., Jun. 15 to Fri., Jun. 18, 2010

3. Address for application submission and contact address

Division of International Students, University of Tsukuba, 1-1-1 Tennodai, Tsukuba-shi, Ibaraki-ken, 305-8577 JAPAN, Tel: 029(853)6085, 6087

Email: isc@un.tsukuba.ac.jp

4. Application method

(1) Submitting documents in person

Applicants are requested to submit their documents in person. Please be prepared to show self-identification document(s) such as your passport or your alien registration card. (Documents will not be accepted if submitted by (a) person(s) than the applicant him/herself)

Applications will be accepted as follows:

Application hours	
Morning: 9 : 00 ~ 11 : 30	Afternoon: 13 : 30 ~ 15 : 30

Note: The university is closed on Saturdays, Sundays, and national holidays.

(2) Sending documents by mail

If you submit the application documents by mail, you should send them as registered mail, EMS (Express Mail Service), or by any other method through which the documents can be tracked, making sure they arrive within the application period noted above. Applications arriving after the deadline will not be processed.

Notes: 1. Applications that contain incomplete or insufficient documents will not be processed.

2. Documents will not be returned to the applicants.

5. Required documents

The selection of research students is made upon careful screening of documents. Therefore, please make sure that all fields in the application form are properly completed.

As a rule, we request that applicants themselves complete the Application Form (see section (2) below) in Japanese. Applicants may prepare the rest of the documents in English, if necessary. In addition, any documents issued by official institutions that are not either in Japanese or in English must be

accompanied by their Japanese translation.

(1) Application fee

(A) Application from within Japan

(Please note that if you have downloaded this application guide/form from the website, please follow the instructions regarding payment given on the website.)

(1) Before you submit the application, you must fill in the required fields (your name, address, name of the graduate school you apply for etc.) on the money transfer form (払込取扱票 *haraikomi toriatsukaihyo*) used by our university (enclosed in the envelope with the other documents). Please go directly to the counter of the Japan Post Bank (post office) in Japan and pay the application fee of 9,800 yen. Please be careful NOT to pay through an ATM (automatic teller machine).

(2) You must also bear any commission fees for the money transfer by yourself.

(3) When you receive the receipt (郵便振替振込金受領証 *yubin furikae haraikomikin juryosho*) and the Certificate of Payment slip for the money transfer (郵便振替払込受付証明書 *yubin furikae haraikomi uketsuke shomeisho*), please make sure they are stamped with the transfer date.

(4) Paste the Certificate of Payment slip (郵便振替振込受付証明書 *yubin furikae haraikomi uketsuke shomeisho*) with the date stamp on it on the Form for Submission of the Certificate of Payment of Application Fee and submit it along with the other documents.

(B) Application from outside Japan

〈If you have a proxy (paying agent) in Japan〉

The proxy should pay the application fee at a Japan Post Bank (post office) in Japan following the procedures listed under (A) above.

Please write the proxy's name in the appropriate box on the Form for Submission of the Certificate of Payment of Application Fee.

〈Direct payment from abroad, if no proxy in Japan〉

(1) Before you submit the application, you should go to a bank allowing foreign remittance (bank wire transfer) and transfer the application fee (in the amount of 9,800 yen) into the following bank account:

Bank name :	The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.
Branch name :	HEAD OFFICE
Account type :	Ordinary account
Account number :	7862425
Bank account name :	University of Tsukuba GAKUNOUKINGUCHI
Remittance currency :	JPY
SWIFT Code :	BOTKJPJT

This account is used exclusively for remittances from abroad.

(2) Please do not send US dollars or other currencies. In case you make payment in currencies other than Japanese yen, your application will not be accepted.

(3) Please note that you will have to bear all service charges/commissions for the bank transfer. With regard to transfer fees, in addition to the Application Fee of 9,800 Japanese yen, the Japanese bank receiving the transfer will charge an additional 2,500 yen as a handling fee. There may be other bank transfer fees for correspondent banks (routing banks) as well (please confirm these fees when you make the transfer). Please be aware that you are responsible for all of these fees related to the cost of transfer. Thus, please make sure that you indicate to the remitting bank that you (the applicant) will bear all services charges/commission fees.

(4) Please make sure to take the certificate for the remittance (receipt), paste it on the back side of the "Form for Submission of the Certificate of Payment of Application Fee" and submit it together with the other application documents.

(C) Payment in cash is not accepted.

(D) Regardless of the reason, once received, the application fee will not be reimbursed to you. Please understand that you will not receive the money back, not only in case you do not pass the selection, but also if you pay the application fee but do not submit the application, or if your application is rejected due to incomplete documents, etc.

(E) The application fee may be subject to change.

(2) Application Form for International Research Students (Enclosed prescribed form) 2 forms

(A) As a rule, this form should be filled out in Japanese by the applicant him/herself.

(B) A photo should be pasted on each of the two copies of this form.

(C) Please make sure to keep a photocopy of your application form as some Japanese diplomatic missions (embassies or consulates) may request that you present a photocopy of your application form when you apply for the visa.

(3) Certificate of Graduation/Completion from the university/graduate school you attended 1 original
..... 1 copy

(A) Applicants who have completed a graduate program should submit a Certificate of Completion from their graduate program university as well as a Certificate of Graduation from their undergraduate university.

(B) Applicants who have not yet finished their undergraduate or graduate studies must submit a document certifying their future graduation/completion or a Certificate of Enrollment.

It is preferable that the name of the degree that you earned be mentioned in the Certificate of Graduation/Completion.

Applicants from countries that do not issue certificates of graduation/completion must submit the original of an attested copy of their Graduation/Completion Diploma with an original official seal (of the school that issued the document) or with an authorization stamp. Photocopies will not be accepted.

(4) Transcript of Academic Record from university or graduate school 1 original
..... 1 copy

Applicants who have completed a graduate program should submit a Transcript of Academic Record from their graduate program university as well as a Transcript of Academic Record from their undergraduate university.

The documents submitted as originals must contain the official signature/seal of the President, etc., of the university and/or graduate school. Photocopies will not be accepted.

(5) Certificate attesting applicant's Japanese language proficiency 2 copies

(A) Applicants who have taken the Japanese-Language Proficiency Test (JLPT), the Business Japanese Proficiency Test (BJT) or the J. TEST of Practical Japanese, etc., may submit their results (copies are acceptable).

(B) Those who cannot provide the certificates noted in (A) may submit the results of other official Japanese proficiency certification examinations conducted abroad.

Note : Those applicants who cannot provide the documents noted in 5 (A) or 5 (B) should contact the Division of International Students.

(6) Certificate attesting applicant's English language proficiency 2 copies

(A) Applicants who have taken TOEFL, TOEIC, or IELTS, etc. may submit their results (copies are acceptable).

(B) Those who cannot provide the certificates noted in (A) may submit the results of official English proficiency certification examinations conducted abroad.

Note : Applicants who cannot provide the documents noted in 6 (A) or 6 (B) should contact the Division of International Students.

(7) Communication Status with Prospective Academic Advisor Form (prescribed form) 1 original
..... 1 copy

(A) Before applying, applicants should contact their prospective academic advisor and consult him/her about their research plan, etc.

(B) After receiving the confirmation of acceptance from the prospective academic advisor, fill in the fields for applicant's name and nationality and send this form to the prospective academic advisor.

Note: The application will not be processed if this form is not submitted during the indicated application period.

(8) Letter of Recommendation (prescribed form) 1 original / recommending professor
..... 1 copy / recommending professor

(A) Two letters of recommendation written by two different professors (former academic advisors, etc.) from the applicant's home university (the university or graduate school the applicant has graduated from). Applicants who are presently employed by educational or research institutions may submit one letter of recommendation written by a professor from his/her home university and another one written by the head of the institution.

(B) Letters written in languages other than Japanese and English should be accompanied by a Japanese or English translation.

(9) Official Document to Confirm Applicant's Nationality/Citizenship 1 form

Applicants residing abroad should submit a document showing nationality/citizenship of the applicant (such as an extract of the family register, a birth certificate, a passport, etc.) issued by an official public institution of the applicant's home country.

Applicants residing in Japan should submit a Certificate of Registered Matters on Alien Registration issued by a Japanese municipal office

(10) Portfolio (Set of photographs of personal works or copy of Report of Achievements) (both in free form) 1 form

To be submitted only by applicants for the Master's Program in Art and Design in the Graduate School of Comprehensive Human Sciences. These documents will not be returned to the applicant.

(11) Address Label for Mailing Results/EMS form (prescribed form) 1 form

Applicants wishing to receive their results by mail within Japan should submit the "Address Label for Mailing the Results"

Applicants wishing to receive their results by mail outside Japan should submit the "EMS form". (The EMS form is not required if the application guide/form is downloaded from the website.)

(12) Application Checklist for International Research Students (prescribed form) 1 form

6. Announcement of Results

Admission Period	Period of Announcement of Results
April 2010	Mid-December to the end of December 2009
September 2010	Mid-May to the end of May 2010
December 2010	Mid-August to the end of August 2010

In order to be admitted to our university, applicants who have been accepted as Research Students must present the "Certificate of Granting Permission for Admission Formalities as a Research Student" and other necessary documents to the Japanese diplomatic mission (embassy or consulate) abroad, and obtain a "College Student" visa.

7. Research Period

The initial research period cannot exceed the academic year for which the applicant was granted admission permission. At our university, the academic year begins in April and ends in March of the following year. Consequently, regardless of the date of admission (April, September, or December) the initial research period will end in March of the following year. If you wish to continue your research afterwards, you must apply for and obtain permission to extend your research period. The total research period cannot exceed two consecutive years.

8. Application Fee, Admission Fee, and Tuition Fee, for Research Students (current as of the 2009 academic year)

Application Fee	Admission Fee	Tuition Fee
9,800 yen	84,600 yen	29,700 yen (per month) × research period

The Admission and Tuition Fees (29,700 yen/month, for the period starting from the month for which the applicant was granted admission permission until the month when the applicant will complete his/her research) must be paid together at the time of the admission formalities. The Application Fee, the Admission Fee, and the Tuition Fee, once paid, will not be refunded, regardless of the reason. The Application Fee, the Admission Fee, and the Tuition Fee are subject to change.

II 筑波大学の概要

1. 建学の理念

筑波大学は、創造的知性と人間性豊かな人材を育成し、学術文化の進展に寄与するため、“国際的視野”で学術的協力を基礎に研究・教育を行うことを大学の基本的性格としています。

2. 位 置

本学は、東京の北東約60kmの地点にあり、清く澄んだ空気、豊かな緑の中に約200の試験・研究機関を擁する“筑波研究学園都市”の中央部に位置しています。本学のキャンパスは、東西1km、南北6km、約258haを占め、全体として森林公園を基調とし、その中に、変化に富んだ斬新なデザインの諸施設が効率的に配置されています。

3. 教育組織 (EDUCATIONAL ORGANIZATIONS)

(入学願書の「NO.7」の所属希望研究科又は学類・専門学群は、希望指導教員と相談して以下の一覧表の中から選択すること。)

(1) 学群・学類 (Undergraduate Level)

学 群

学群は、教育上の目的に応じて組織され、学部段階の学生の教育指導について包括的な責任を持つ組織であり、各学群には学問的に近い複数の学類が置かれています。

体育及び芸術の分野については、教育の対象とする分野の範囲が限定的で専門性が強いいため、それぞれ「専門学群」として、学類を置かずその目的にふさわしい教育を行います。

学 類

学類は、学群に属し、学生の教育指導について基礎的な責任を持つ組織であり、学生のクラス編成の基盤となります。学群・学類における主専攻分野と、取得学位は次表のとおりです。

学 群 と 学 類 (2009 年度入学者)

学 群	学 類	主 専 攻 分 野	入学定員	学 士
人文・文化学群	人 文 学 類	哲学、史学 考古学・民俗学 言語学	120 人	学士 (人 文 学)
	比 較 文 化 学 類	文学 地域、思想	80	学士 (文 学) 学士 (比 較 文 化)
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	日本語・日本文化学	40	学士 (文 学)
社会・国際学群	社 会 学 類	社会学 法学 政治学 経済学	80 ※ 10	学士 (社 会 学) 学士 (法 学) 学士 (政 治 学) 学士 (経 済 学)
	国 際 総 合 学 類	国際関係学 国際開発学	80	学士 (国際関係学) 学士 (国際開発学)
人 間 学 群	教 育 学 類	教育学	35	学士 (教 育 学)
	心 理 学 類	心理学	50	学士 (心 理 学)
	障 害 科 学 類	障害科学	35	学士 (障 害 科 学) 学士 (特別支援教育学) 学士 (社会福祉学)
生命環境学群	生 物 学 類	生物学	80	学士 (理 学)
	生 物 資 源 学 類	生物資源科学	120 ※ 10	学士 (生物資源学) 学士 (農 学)
	地 球 学 類	地球環境学 地球進化学	50	学士 (理 学)
理 工 学 群	数 学 類	数学	40	学士 (理 学)
	物 理 学 類	物理学	60	学士 (理 学)
	化 学 類	化学	50	学士 (理 学)
	応 用 理 工 学 類	応用物理 電子・量子工学 物性工学 物質・分子工学	120 ※ 10	学士 (工 学)

学 群	学 類	主 専 攻 分 野	入学定員	学 士
理 工 学 群	工学システム学類	知的工学システム 機能工学システム 環境開発工学 エネルギー工学	130	学士（工 学）
	社 会 工 学 類	社会経済システム 経営工学 都市計画	120	学士（社会工学）
情 報 学 群	情 報 科 学 類	ソフトウェアサイエンス 情報システム 知能情報メディア	80 ※ 10	学士（情報科学） 学士（情報工学）
	情報メディア創成学類	情報メディア創成	50 ※ 10	学士（情報メディア科学）
	知識情報・図書館学類	知識科学 知識情報システム 情報経営・図書館	100 ※ 10	学士（図書館情報学）
医 学 群	医 学 類	医学、 新医学	103 ○ 5	学士（医 学）
	看 護 学 類	看護学	70 ※ 10	学士（看護学）
	医 療 科 学 類	医療科学	37 ※ 3	学士（医療科学）
体育専門学群	—	健康・スポーツ教育 健康・スポーツマネジメント スポーツコーチング	240	学士（体 育 学）
芸術専門学群	—	芸術学、美術 構成、デザイン	100	学士（芸 術 学）

（備考）○印は第2年次編入入学定員を、※印は第3年次編入入学定員をそれぞれ外数で示す。

(2) 大学院（Graduate Level）

大学院には、修士課程、博士課程及び専門職学位課程があります。修士課程では、高度専門職業人の養成又は社会人の再教育を目的として、通常の専門分野の区分にとらわれない学際的な教育を行い、博士課程では、専門的分野における研究者の養成又は研究型高度専門職業人の養成を目的として、幅広い知識を基盤とした高い専門性を涵養する高度な教育を行い、専門職学位課程では、高度専門的な職業能力を有する人材の養成に特化した実践的な教育を行っています。

博士課程には、前期及び後期の区分を設けず5年一貫教育を行う研究科（医学を履修する課程にあっては4年）と、前期及び後期の課程に区分する研究科があり、さらに後期の課程のみの専攻を併せ持つ研究科があります。

大学院の正規学生の一般的な入学資格については、修士課程、博士前期課程、5年一貫制博士課程については、大学（医学を履修する課程にあっては医学、歯学又は修業年限6年の獣医学を履修する課程に限る。）を卒業若しくは外国において学校教育における16年（医学を履修する課程にあっては、18年）の課程を修了していること、博士後期課程については、修士の学位若しくは外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位の取得が要件となっています。

また、夜間において教育を行う課程（東京キャンパスにおいて開講）がありますが、研究生は出願できないため次表には記載していません。

修士課程（MASTER'S PROGRAM）

研 究 科 Program Name	専 攻 Main Field	分 野 例 Research Fields	学 位 Degree
教 育 研 究 科 Master's Program in Education	スクールリーダー シ ッ プ 開 発	スクールリーダー、学習・生活支援コーディネータ	修士（教育学）
	教 科 教 育	国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、英語教育、保健体育教育、芸術科教育	
	特 別 支 援 教 育	特別支援教育指導開発、特別支援教育コーディネーション開発	

博士課程 (DOCTORAL PROGRAMS)

研 究 科	専 攻	分 野 例	学 位
人文社会科学研究科 Graduate School of Humanities and Social Sciences 一貫制博士課程 Continuous 5-year Doctoral Programs	哲 学 ・ 思 想	西洋哲学、科学哲学、中国哲学、倫理学の原理論、東アジアの倫理思想、西洋の倫理思想、宗教学の原理論、宗教哲学、宗教人類学・民衆宗教研究、インド哲学・仏教学、比較思想学、同方法論、比較思想・比較文化論	博士 (文学)
	歴 史 ・ 人 類 学	日本史学、東洋史学、西洋史学、歴史地理学、先史学、考古学、民族学、文化人類学	博士 (文学)
	文 芸 ・ 言 語	文学理論、比較文学、西洋古典学、日本文学、イギリス文学、アメリカ文学、フランス文学、ドイツ文学、中国文学、一般言語学、応用言語学 (応用言語学、日本語教育)、日本語学、英語学、フランス語学、ドイツ語学	博士 (文学) 博士 (言語学)
博士前期課程 Initial 2-year Doctoral Programs	現代語・現代文化	文化交流論、文化地域論、文化動態論、文化差異論、言語文化論、科学文化論、西洋芸術文化論、欧米文学・文化、言語文化教育論、身体文化論、文化間コミュニケーション研究、文化対象論、教育社会史、情報社会論、映像文化論、言語統語論研究、言語比較研究、外国語習得論、外国語教育論、言語政策	修士 (文学) 修士 (言語学) 修士 (学術)
	国 際 公 共 政 策	公共経営論、現代政治分析、国際政治理論、国際政治史、アジア政治論、計量分析、知識社会学、医療社会学、家族社会学、逸脱行動論、社会問題論、文化社会学、歴史社会学、都市社会学、比較政治学、国際安全保障論、国際関係史、アジア国際関係論、ロシア・東欧の国際関係、中国政治外交論、開発と民衆主義、国際法、国際文化論、開発人類学、文化変動論、人口学特論	修士(国際政治経済学) 修士 (政治学) 修士 (社会学) 修士 (学術)
	経 済 学	ミクロ経済学、マクロ経済学、計量ファイナンス、日本経済史、経済学説史、社会選択理論、公共選択理論、数量経済学、金融論、ゲーム理論、人的資源間理論、組織と戦略、リサーチ・ワークショップ、計量経済学、公共経済学、経済発展論、ヘルス・エコノミックス、応用ゲーム理論、国際開発論、金融システム論、国際金融論	修士 (経済学)
	法 学	憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法、裁判実務	修士 (法学)
	国 際 地 域 研 究	国際関係論、国際政治学、国際開発論、国際経済学、国際関係史、経済開発論、社会開発論、国際協力研究、国際政治経済論、比較文化論、比較言語論、比較宗教論、比較政治論、比較文学論、比較教育論、文化人類学、開発人類学、民俗学、宗教学	修士 (国際学)
博士後期課程 Continuous 3-year Doctoral Programs	現代語・現代文化	文化交流論、文化地域論、文化動態論、文化差異論、言語文化論、科学文化論、西洋芸術文化論、欧米文学・文化、言語文化教育論、身体文化論、文化間コミュニケーション研究、文化対象論、教育社会史、情報社会論、映像文化論、言語統語論研究、言語比較研究、外国語習得論、外国語教育論、言語政策	博士 (文学) 博士 (言語学) 博士 (学術)
	国 際 公 共 政 策	公共経営論、現代政治分析、国際政治理論、国際政治史、アジア政治論、計量分析、知識社会学、医療社会学、家族社会学、逸脱行動論、社会問題論、文化社会学、歴史社会学、都市社会学、比較政治学、国際安全保障論、国際関係史、アジア国際関係論、ロシア・東欧の国際関係、中国政治外交論、開発と民衆主義、国際法、国際文化論、開発人類学、文化変動論、人口学特論	博士(国際政治経済学) 博士 (政治学) 博士 (社会学) 博士 (学術)
	経 済 学	金融論、社会選択理論、公共選択理論、日本経済史、経済思想、数理経済学、計量ファイナンス、応用ミクロ経済学、経済学研究プロジェクト演習	博士 (経済学)
	法 学	憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法、裁判実務	博士 (法学)
	国 際 日 本 研 究	比較日本政治、比較日本社会、比較日本経済、比較日本文化、比較日本民俗、比較東洋思想、国際外交関係、映像メディア交流、情報メディア交流、東アジア文化交流、ユーラシア交流、国際人的移動・交流、日本語教育学、対照言語学、日本語授業・教材分析、日本語力評価、計量分析	博士(国際日本研究)

研究科	専攻	分野例	学位
数理物質科学研究科 Graduate School of Pure and Applied Sciences 博士前期課程 Initial 2-year Doctoral Programs	数 学	群論、環論、代数幾何学、整数論、位相幾何学、微分幾何学、関数解析学、微分方程式論、確率論、代数解析学、数理統計学、数理論理学、理論計算機科学、計算数学	修士(理学) 修士(数学)
	物 理 学	素粒子物理学理論、素粒子物理学実験、宇宙物理学理論、宇宙物理学観測、原子核物理学理論、原子核物理学実験、凝縮系物理学理論、凝縮系物理学実験、プラズマ物理学実験、計算生命理論	修士(理学) 修士(物理学)
	化 学	無機化学、物理化学、量子化学、有機物理化学、有機合成化学、構造有機化学、生物有機化学、生物無機化学、機能物質化学	修士(理学) 修士(化学)
	物質創成先端科学	計算科学フロンティア、分子化学フロンティア、物質物理フロンティア	修士(理学) 修士(工学) 修士(物理学) 修士(化学)
	電子・物理工学	光量子工学、計測数理工学、量子ビーム・プラズマ工学、ナノテクノロジー、半導体エレクトロニクス、光・電子素子	修士(工学)
	物性・分子工学	凝縮系物性工学、電子物性、材料物性工学、化学物理、物質化学	修士(工学)
博士後期課程 Continuous 3-year Doctoral Programs	数 学	群論、環論、代数幾何学、整数論、位相幾何学、微分幾何学、関数解析学、微分方程式論、確率論、代数解析学、数理統計学、数理論理学、理論計算機科学、計算数学	博士(理学) 博士(数学)
	物 理 学	素粒子物理学理論、素粒子物理学実験、宇宙物理学理論、宇宙物理学観測、原子核物理学理論、原子核物理学実験、凝縮系物理学理論、凝縮系物理学実験、プラズマ物理学実験、計算生命理論	博士(理学) 博士(物理学)
	化 学	無機化学、物理化学、量子化学、有機物理化学、有機合成化学、構造有機化学、生物有機化学、生物無機化学、機能物質化学	博士(理学) 博士(化学)
	物質創成先端科学	計算科学フロンティア、分子化学フロンティア、物質物理フロンティア	博士(理学) 博士(工学) 博士(物理学) 博士(化学)
	電子・物理工学	光量子工学、計測数理工学、量子ビーム・プラズマ工学、ナノテクノロジー、半導体エレクトロニクス、光・電子素子	博士(工学)
	物性・分子工学	凝縮系物性工学、電子物性、材料物性工学、化学物理、物質化学	博士(工学)
3年制博士課程 3-year Doctoral Program	物質・材料工学	金属系先進材料、無機系先進材料、ナノ・生体系先進材料	博士(工学)
システム情報工学研究科 Graduate School of Systems and Information Engineering 博士前期課程 Initial 2-year Doctoral Programs	社会システム工学	ゲーム理論、計量経済学、マクロ経済学、ミクロ経済学、財政学、数理工学、データマイニング、応用確率過程、情報科学、オペレーションズ・リサーチ、都市計画、地域経済学、交通計画、都市史、ファイナンス、マネジメント	修士(工学) 修士(社会工学) 修士(社会経済)
	経営・政策科学	MBA コース(ビジネス倫理、リーダーシップ、管理会計、ファイナンス、マーケティング、組織行動論、企業計画情報システム、サービス科学等)及びMPPコース(行政と政策決定、公共政策分析、財政政策、国際金融論、都市・地域経営とまちづくり、交通計画論、環境政策、空間情報科学等)	修士(ビジネス) 修士(公共政策)
	リスク工学	安全性・信頼性、情報セキュリティ、暗号・認証技術、環境・エネルギーリスク、都市防災、都市リスク、人間機械共生系、リスク認知、リスクコミュニケーション、ソフトコンピューティング(確率統計モデル、ファジィ論、証拠理論など)とその応用	修士(社会工学) 修士(工学)
	コンピュータサイエンス	数理情報工学、知能ソフトウェア、ソフトウェアシステム、計算機工学、メディア工学、知能情報工学	
	知能機能システム	システムデザイン、人間・機械・ロボットシステム、計測・制御工学、コミュニケーションシステム	修士(工学)
	構造エネルギー工学	構造工学、固体力学、材料工学、流体工学、熱工学、エネルギー工学、システム・制御工学、信頼性工学	

研 究 科	専 攻	分 野 例	学 位	
博士後期課程 Continuous 3-year Doctoral Programs	社会システム・マネジメント	ゲーム理論、計量経済学、マクロ経済学、ミクロ経済学、財政学、数理工学、データマイニング、応用確率論、情報科学、オペレーションズ・リサーチ、都市計画、地域経済学、交通計画、都市史、ファイナンス、マネジメント	博士(工学) 博士(社会工学) 博士(社会経済) 博士(マネジメント)	
	リ ス ク 工 学	安全性・信頼性、情報セキュリティ、暗号・認証技術、環境・エネルギーリスク、都市防災、都市リスク、人間機械共生系、リスク認知、リスクコミュニケーション、ソフトコンピューティング(確率統計モデル、ファジィ論、証拠理論など)とその応用	博士(社会工学) 博士(工学)	
	コンピュータサイエンス	数理情報工学、知能ソフトウェア、ソフトウェアシステム、計算機工学、メディア工学、知能情報工学	博士(工学)	
	知能機能システム	システムデザイン、人間・機械・ロボットシステム、計測・制御工学、コミュニケーションシステム		
	構造エネルギー工学	構造工学、固体力学、材料工学、流体工学、熱工学、エネルギー工学、システム・制御工学、信頼性工学		
一貫制博士課程 Continuous 5-year Doctoral Program	生命共存科学	共存生物学、植物環境適応学、環境病理学、負荷適応分子生物学、環境創生モデリング、保全生物学、生物圏生態学、生物防御学、生物環境修復学	博士(理学) 博士(農学) 博士(生命共存科学) 博士(学術)	
生命環境科学研究科 Graduate School of Life and Environmental Sciences	地 球 科 学	人文地理学、地誌学、地形学、水文科学、大気科学、空間情報科学、陸域水循環システム、海洋・大気相互システム、生物圏変遷科学、地圏変遷科学、地球変動科学、岩石学、惑星資源科学、鉱物学、海洋変遷科学	修士(理学) 修士(地球科学) 修士(地球環境科学)	
	生 物 科 学	植物系統分類学、動物系統分類学、微生物学、群集生態学、進化遺伝学、遺伝子多様性学、環境・生物多様性保全学、細胞構造学、オルガネラ細胞学、細胞生物学、発生生物学、脳神経情報生物学、分子生物学、遺伝情報学、植物代謝生理学、植物発生学、生殖分子情報学	修士(理学) 修士(生物科学)	
	博士前期課程 Initial 2-year Doctoral Programs	生物資源科学	農林生物学、農林社会経済学、生物環境工学、応用生命化学、バイオシステム学(コース)	修士(農学) 修士(学術) 修士(生物資源工学) 修士(生物工学)
	環 境 科 学	大気環境、地水・流域環境リモートセンシング、環境応答、土壌・水資源環境、環境生化学、環境分析化学、環境生物工学、環境経済・環境政策、地域大気汚染学、植物・植生、動物・群集、水圏生物、環境化学、環境疫学、環境計画、農山村計画・自然環境の保護と管理、環境アセスメント、文化生態、環境倫理、地域環境保健学	修士(環境科学)	
博士後期課程 Continuous 3-year Doctoral Programs	地球環境科学	人文地理学、地誌学、地形学、水文科学、大気科学、空間情報科学、陸域水循環システム、海洋・大気相互システム	博士(理学) 博士(地球環境科学)	
	地球進化科学	生物圏変遷科学、地圏変遷科学、地球変動科学、岩石学、惑星資源科学、鉱物学、地球物性科学	博士(理学) 博士(地球科学)	
	構造生物学	植物系統分類学、動物系統分類学、微生物学、群集生態学、進化遺伝学、細胞構造学、オルガネラ細胞学、環境・生物多様性保全学	博士(理学) 博士(生物科学)	
	情報生物学	分子生物学、遺伝情報学、細胞生物学、植物代謝生理学、発生生物学、脳神経情報生物学、生殖分子情報学、植物発生学		
	国際地縁技術開発科学	森林生態環境学、乾燥地工学、生態構造工学、農村環境整備学、森林多様性解析学、先端技術開発学、植物機能開発工学、生物材料化学、生物材料工学、食機能探査科学、食資源利用科学、地域食品開発科学、食品品質評価工学、生物資源経済学、国際地域開発経済学、農業経営学及び関連産業経営学、農村社会・農史学、森林資源経済学、森林資源社会学、地域資源保全学	博士(農学) 博士(生物資源工学) 博士(学術)	
	生物圏資源科学	植物育種学、作物生産学、野菜・花卉学、果樹生産利用学、動物資源生産学、生物生産システム学、生産基盤システム工学、生物生産機械学、生物圏情報計測学、植物細胞遺伝情報学、植物寄生菌学、応用動物昆虫学、流域保全工学、水利環境工学、土壌環境化学、植物環境生化学、森林微生物機能解析学、昆虫生理機能学、植物生産環境生理学	博士(農学) 博士(学術)	

研 究 科	専 攻	分 野 例	学 位
博士後期課程 Continuous 3-year Doctoral Programs	生 物 機 能 科 学	生体成分化学、構造生物化学、ゲノム情報生物学、微生物育種工学、分子発生制御学、生体情報制御学、生物プロセス工学、生物反応工学、微生物機能利用学、細胞機能開発工学、生体模倣化学、負荷適応微生物学、時間細胞生物学、複合生物系利用工学、植物糖鎖生化学、分子情報解析学、植物機能高分子科学、動物リソース工学、共生進化生物学	博士(農学) 博士(生物工学) 博士(学術)
	生 命 産 業 科 学	遺伝子産業科学(化学進化生物学、植物発生工学、植物分子遺伝学)、バイオ産業科学(植物機能生理化学、動物細胞バイオテクノロジー、バイオ産業資源学、生理活性天然物化学、産業微生物資源学)、生態システム工学(生物圏環境制御学、システム生態環境工学、生物資源プロセス工学、海洋システム環境工学)、資源開発技術学(食品プロセス工学、食料機械工学、食料システム学)、資源総合評価工学(環境評価シミュレーション)、環境共生科学(生物資源利用学、植物産業科学)	博士(農学) 博士(生物科学) 博士(生物工学) 博士(学術)
	持 続 環 境 学	大気循環論、水循環持続論、土壌環境持続論、微生物機能循環論、生物資源持続循環論、持続環境生体応答論、地域大気汚染学(持続循環環境学領域)、多様性・保全生態学、生態系生態学、予防環境医学、生命・環境倫理学、文化生態共生論、地域環境保健学(持続環境共生学領域)、都市環境基創成学、都市景観創成学、環境社会経済政策論、生態環境解析評価論、総合流域管理論、生態資源管理論、環境気候学、熱帯林保全計画論、自然地域管理保全論	博士(環境学)
3年制博士課程 3-year Doctoral Program	先端農業技術科学	フィールドインフォマティクス、生産・管理システム学、家畜生産機能制御学、作物ゲノム育種学、果樹ゲノム育種学、花き新育種資源作出・利用学	博士(農学)
人間総合科学研究科 Graduate School of Comprehensive Human Sciences 博士前期課程 Initial 2-year Doctoral Programs	フロンティア医科学 (修士課程)	【医科学コース】 神経内分泌学、解剖学・発生学、神経生物学、診断病理学、実験病理学、腎血管病理学、神経生理学、循環生理学、システム神経科学、行動神経科学、生化学・分子細胞生物学、生化学・遺伝子制御、生化学・生殖生化学、診断生化学、生理科学、分子神経生物学、分子ウイルス学、免疫学、遺伝医学、実験動物学、再生医学・医工学、医学物理学、放射線生物学・腫瘍学、分子細胞生物学、発生生物学、生体機能材料学、分子遺伝学、糖鎖生物学、呼吸器内科学、消火器・内科学、腎臓内科学、代謝内分泌学、血液学、内科学・リウマチ学・臨床免疫学、神経内科学、胎児発生学・小児発育学、精神医学、腫瘍治療学・臓器移植免疫学、整形外科学、婦人周産期医学、泌尿器科学、聴覚平衡機能制御学、小児外科学、皮膚科学、臨床病理学、放射線診断学、臨床薬理学、医療情報学、人工臓器医学・臨床生理学、スポーツ医学、研究開発マネジメント学 【公衆衛生学コース】 疫学、分子遺伝疫学、国際協力学、法医学 【ヒューマン・ケア科学コース】 保健医療政策学、精神保健学、ヘルスサービスリサーチ、高齢者ケアリング	修士(医科学) 修士(公衆衛生学)
	教 育 学	教育哲学、日本教育史、外国教育学、生涯学習・社会教育学、教育制度学、比較・国際教育学、教育行政学、学校経営学、カリキュラム、教育方法学、道德教育学、教育工学、社会科教育学、人文学科教育学、数学教育学、理科教育学、共生教育学(教育臨床学、教育社会学、共生社会学、教育経営学)	修士(教育学)
	心 理	感覚知覚心理学、教育心理学、認知心理学、言語心理学、心理測定学、発達心理学、青年心理学、社会心理学、集団心理学、発達臨床心理学、臨床心理学	修士(心理学)
	障 害 科 学	視覚障害学、聴覚障害学、知的・発達・行動障害学、運動・健康・高齢障害学、音声・言語障害学、障害福祉学、障害原理論	修士(障害科学)
	感 性 認 知 脳 科 学	感性情報学、行動神経内分泌学、動物認知心理学、行動神経科学、精神機能障害学、システム脳科学、神経分子機能学、脳型情報処理機構学(領域名に変更)	修士(感性科学) 修士(行動科学) 修士(神経科学) 修士(学術)

研 究 科	専 攻	分 野 例	学 位
人間総合科学研究科 Graduate School of Comprehensive Human Sciences 博士前期課程 Initial 2-year Doctoral Programs	看 護 科 学	地域健康システム看護学、実践看護学、環境看護学	修士(看護科学)
	体 育 学	体育・スポーツ学、健康体力学、コーチング学	修士(体育学)
	芸 術		修士(芸術学) 修士(デザイン学)
	世 界 遺 産		修士(世界遺産学) 修士(学術)
博士後期課程 Continuous 3-year Doctoral Programs	教 育 基 礎 学	教育哲学、日本教育史、外国教育学、生涯学習・社会教育学、教育制度学、比較・国際教育学、教育行政学、学校経営学	博士(教育学)
	学 校 教 育 学	カリキュラム、教育方法学、道徳教育学、教育工学、社会科教育学、人文科教育学、数学教育学、理科教育学、体育科教育学、学校保健学	博士(教育学) 博士(学術)
	心 理 学	感覚知覚心理学、教育心理学、認知心理学、言語心理学、心理測定学、発達心理学、青年心理学、社会心理学、集団心理学	博士(心理学) 博士(学術)
	障 害 科 学	障害基礎科学、障害支援	博士(障害科学)
	感 性 認 知 脳 科 学	感性情報学、感性デザイン学、比較認知科学、行動神経科学、精神機能障害学、システム脳科、神経分子機能学、脳型情報処理機構学	博士(感性科学) 博士(行動科学) 博士(神経科学) 博士(学術) ⑩
	看 護 科 学		博士(看護科学)
	体 育 科 学	体育・スポーツ文化論(体育・スポーツ哲学、体育・スポーツ史)、スポーツ社会・経営学(スポーツ社会学・経営学)、スポーツ教育・心理学(生涯スポーツ教育、スポーツ心理学)、運動生理、生化・栄養学(運動生理学・生化学・栄養学)、スポーツバイオメカニクス、健康体力学(健康体力論、環境保健学)、コーチング論(スポーツ運動学、トレーニング学、球技スポーツ)	博士(体育科学) 博士(学術)
	芸 術	芸術学分野(美学・芸術学、西洋美術史、日本美術史、東洋美術史、美術論、洋画表現法、日本画表現技法、彫塑表現技法、書表現技法論、書学書法史、美術教育方法史)、デザイン学分野(構成学、色彩計画、総合造形論、視覚伝達表現論、製品形態設計論、環境デザイン論、都市デザイン原論、現代建築論)	博士(芸術学) 博士(デザイン学)
世 界 文 化 遺 産 学	保存哲学領域(文化遺産原論)、政策・行政領域(文化政策論、文化遺産保護行政論)、整備・観光領域(文化観光論、遺産整備計画論)、景観領域(文化的景観論)、建築領域(文化遺産建築論)、美術領域(文化遺産美術論)、保存科学領域(保存修復工学、保存修復科学)	博士(世界遺産学) 博士(学術)	
一貫制博士課程 (医学の課程) Continuous 4-year Doctoral Programs	生命システム医学専攻	統合生理学、分子細胞生理学、分子生物腫瘍学、分子薬理学、分子病理学、免疫制御医学、モデル動物学、解剖学・発生学、ゲノム機能学、遺伝医学、感染生物学、病態生化学、疫学、環境医学、社会健康医学、法医学、国際医療学、環境保健学、国際ウイルス学	博士(医学) 博士(学術)
	疾患制御医学専攻	応用放射線医学、粒子線腫瘍医学、再生医学、消火器外科学・臓器移植学、代謝・内分泌制御医学、臨床免疫学、血液病態制御医学、運動器系制御医学、呼吸循環システム制御医学、分子情報医学、臨床分子病態検査医学、皮膚病態医学、消火器病態医学、呼吸病態医学、循環器病態医学、腎臓病態医学、小児内科学、小児外科学、精神病態医学、神経病態医学、生体分子機能学、循環呼吸機能再建医学、腎泌尿器科学・男性機能科学、機能形態回復医学、婦人周産期医学、眼科学、聴覚平衡機能制御医学、顎口腔外科学、脳神経機能制御医学、麻酔・蘇生学、臨床薬剤学、分子創薬学	
3年制博士課程 3-year Doctoral Programs	ヒューマン・ケア科学	共生教育学、発達臨床心理学、臨床心理学、生活支援学、高齢者ケアリング学、障害福祉支援学、ヘルスカウンセリング学、社会精神保健学、福祉医療学、保健医療政策学、ヘルスサービスマスター	博士(ヒューマン・ケア科学) 博士(教育学) 博士(心理学) 博士(体育科学) 博士(学術) ⑩

研 究 科	専 攻	分 野 例	学 位
3年制博士課程 3-year Doctoral Programs	ス ポ ー ツ 医 学	スポーツ医科学基礎論（スポーツ医学基礎論、運動代謝内分泌学、運動代謝栄養学）、生涯スポーツ医学（女性スポーツ医学、発達加齢スポーツ医学）、競技スポーツ医学（アスレティックコンディショニング論、アスレティックリハビリテーション論）、健康スポーツ医学（健康体力論、運動療法論）	博士(スポーツ医学) 博士(学術) ⑩
	コ ー チ ン グ 学	コーチング学原論、トレーニング論、運動学、個人スポーツ論、球技論、武道論	博士(コーチング学) 博士(学術)
図書館情報メディア研究科 Graduate School of Library, Information and Media Studies 博士前期課程 Initial 2-year Doctoral Program	図書館情報メディア	情報メディア社会、情報メディアマネージメント、情報メディアシステム、情報メディア開発	修士(図書館情報学) 修士(情報学) 修士(学術)
博士後期課程 Continuing 3-year Doctoral Program			博士(図書館情報学) 博士(情報学) 博士(学術)

(注) 学際的な分野を専攻した者には、上記の学位ではなく、博士(学術)の学位を授与することもある。